

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
350026	XZY3350026	1	集中 (前期)	国際学部国際文化学科	専門	選択	3 年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3 年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
海外実習 A	澤口 晋一			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	×	×	×		
授業目的							
海外の大学において開催される語学セミナーへの参加、あるいは海外の企業でのインターンシップ、または国際 NGO やボランティアへの参加等によって、普段机上では体験できない勉学の機会とする。第 1 回目の 2016 年度は 13 名の学生が、台湾、フィリピン、カンボジア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ、ロシアに渡航し、語学セミナーやボランティアなどに参加した。							
各回毎の授業内容							
第 1 回	【授】 夏期休暇期間中に海外の大学で開催される語学セミナーへの参加、あるいは海外でのボランティア・企業や NGO での研修といった活動を行った場合に単位を認定する。活動期間は 1 週間程度からそれ以上が望ましい。希望学生はゼミ教員に現地活動計画書を提出し指導を受ける。帰国後、現地実習成果をレポートにして提出、学生公開の場で報告する。事前の計画書と帰国後のレポートおよび成果報告会をベースに担当ゼミ教員が成績評価、学部長が単位認定を行う。 【前・後】 目的に応じて、それ相当の事前学習を行ったうえで参加すること。			第 9 回			
第 2 回				第 10 回			
第 3 回				第 11 回			
第 4 回				第 12 回			
第 5 回				第 13 回			
第 6 回				第 14 回			
第 7 回				第 15 回			
第 8 回				第 16 回			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
教科書参考書							
吹浦 忠正『NGO・海外ボランティア入門―難民を助ける会 20 年の軌跡から』自由国民社、1999 年。 地球の歩き方編『1 週間からできる海外ボランティアの旅―はじめてでもできる! 本当の自分が見つかる感動体験』2008 年。							
受講に当たっての留意事項							
本実習では、選定された実習地が適当かどうかを、ゼミ教員が中心となって検討し、適当と判断された場合に派遣される。場所によっては毎日の連絡が必要な場合もある。授業の一環であることを念頭に入れて実習先を選ぶこと。詳細は所属するゼミ教員に質問すること。							
学習到達目標							
海外での活動を通じ大学での机上では体験できない勉学、体験を通じて国際理解の一助とする。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習